

穂 学

令和元年度
広州日本人学校 学校便り
[No. 14]
令和元年11月8日(金)
発行責任者 校長 喜屋武浩司

「学習発表会の振り返り（中学部）」

学習発表会振り返りの最終号を飾るのは中学部です。小学校とは違い、中学部3学年が合同でつくりあげた合唱はどれも聴き応えのあるものでした。中学部全体で取り組む難しさやそれを乗り越えた喜びの声、各学年で「つなぐ」を意識した感想になっています。中学部スローガン「輝く未来へ、夢をもって羽ばたこう！」

< 1年1組 >

- 上海でも中学部の歌をきいてたけど、それよりも広州の方がすごいと思いました。また、練習もとても説明がわかりやすくてすごかったと思いました。来年は2年生として1年生に負けないようにがんばります。(井上翔太さん)
- 最初は合唱ってめんどくさそうだなと思っていて、練習もそんなに真面目にやっていなかったけど、練習をしていくうちに、どんどんソプラノとアルトとテノールの声はもってきて、達成感がありました。しっかり練習を最初から一人一人が真面目にしていたら、もっとすばらしい発表を観客の人々に届けることができたなと思いました。(島崎真菜さん)
- 本番、大きな声でしっかりとできたと、初日よりはゆっくりと指揮を見ながら歌えました。みんなが一生懸命歌えた初日は、「ヒカリ」を歌っているとき少しざわついてたけど、2日目はしっかりときんちょう感をもって待つことができた。少しきんちょうしたけどとても楽しかったです。(堤田楓日さん)



< 2年1組 >

- 去年もまじめにやったが、今年は二倍ぐらいまじめにやった。前までは学習発表会は面倒くさいと思っていたが、一生懸命やったら楽しく思えるようになった。今後も、いやなことでも一生懸命やっていきたい。(榎本将大さん)
- 学習発表会をふり返って、練習の成果がよくでたのかなと思いました。スピードは少し速くなってしまったけど、強弱をつけたり大きな声を出すことなどはできたと思うのでよかったです。これからみんなで協力して物事をするときには今回のように真剣に取り組んでいきたいです。(遠藤彩峰さん)
- 今回の学習発表会を終えて、みんなで一緒に歌わなきゃいけない責任感と、声をみんなと合わせなければならない団結力が身についた。またいつこのような発表会があるか分からないが、歌を歌う機会では、今日よりこの二つの力をパワーアップさせてその歌に臨みたい。(新家裕樹さん)

< 2年2組 >

○初めてパートリーダーをやってどんどん的確な指示ができるようになってよかったなと思った。発表が終わった後、やり切ったという感じがして良かったので、今後、中学部として一つのものを作るとなったらしっかり全力でやり切りたい。中3の先輩から学んだことをしっかり生かせるようにする。例えば、自分から積極的に行動し、みんなを引っばる。すごい合唱が好きというタイプではないがみんなの一つのものをつくり上げていくのは楽しいなと思った。(岡本瀬良さん)



- 美術班の活動では、同じ班の人たちと協力したり、また、クラスの皆に協力してもらったりして、協力することの大切さを改めて感じた。また、音楽部の発表では、よりよい発表のために色々工夫や改善をすることの大切さとやりがいも改めて知った。(西岡心花さん)
- 今回は中学生として2回目の発表会だったため、1年生に先輩らしい姿を見せることができたと思う。また、歌は人それぞれどう思ったか違うかもしれないけれど、僕はよかったと思う。なぜなら、上手でも上手でなくても中学部全員が本気で心を込めて歌っていたからだ。来年もいるかはわからないが、いたとしたら大成功させたい。(皆川大和さん)

< 3年1組 >

- 全体合唱の「手紙」は最大限の音量で歌うことができた。中3から中1までが心を一つにして歌えたからこそ素晴らしいハーモニーを奏でることができたと思う。そして、中3のみのソロパートでは声を張ることができた。次に縦割り曲の「ヒカリ」では抑揚とメリハリ、音量に意識して歌いることができた。また、中1を中2がサポートできたと思う。人数は全体の半分になったが、音量は非常に大きく素晴らしかった。中学校最後の学習発表会で悔いの残らない最高の発表ができたと思う。(香西隼さん)
- 今回、実行委員長として歌の練習などを積極的に行い、最高の学習発表会になりました。中学部すべての学年の学習発表会に対する思いがあり、全員が一生懸命取り組んでいたと思います。また、パートリーダーとして良いアドバイスをすることができてとても良かったです。自分の学年だけでなく、中学部全体を引っ張ったので、それをこれからの生活に生かし、残りの中学校生活、悔いのないように過ごしたいと思います。(高橋里沙さん)
- 練習をたくさんして本番にいどみました。本番ではあまり緊張せず、練習してきたようにできました。これは「Hard work pays off」(努力は報われる)だと思います。私は経験とこの言葉を学ぶことができたと思います。これからも努力をしていきたいです。(中野晴人さん)
- 今まで練習した成果を全て出し切ることが出来たのでとても良かった。また、歌詞ミスもせず、しっかり歌えたことが特に良かった。最後の「手紙」では皆の真剣な思いが伝わってきてとても嬉しかった。引っ張っていくという役割を中1、2年生にうまく渡すことが出来たと思う。(福羅颯太さん)

いかがでしょうか。もう一度家族で話題にしていただければ幸いです。